

# 2009年度中間決算概要

---

**株式会社 やまねメディカル**

2009年11月

# ポイント

1. 6月からの行政処分の影響による予算の未達  
(上期利益は、5月の業績予想に対して約30%の下振れ)
2. 上期は12施設を新規開設  
(直営施設は77施設(09年9月末日))
3. 下期の重点課題は行政処分の影響の最小化
4. 今期の新たな施設開設は困難(今期新規施設は13施設)

# プログラム

## I. 2009年度中間決算概要

- 1) 中間決算実績の概要
- 2) 新規施設開設の状況と東京都による行政処分について
- 3) 業績の分析

## II. 下期の重点課題と資本政策

- 1) 下期の重点課題
- 2) 施設開設計画
- 3) 資本政策

---

# I . 2009年度中間決算概要

# 1) 2009年度中間決算実績の概要

(単位:百万円)

	2008年度(第7期) 中間期	2009年度(第8期) 中間期	前年比
営業収入	2,408	2,641	110%
営業利益	430	286	67%
経常利益	423	271	64%
当期純利益	238	139	59%



- ①行政処分の影響により対前年比で30%以上の減益
- ②5月の業績予想に対しても経常利益は約30%の下振れ

# 第2四半期(7~9月)決算概要

(単位:百万円)

	2008年度(第7期) 第2四半期	2009年度(第8期) 第2四半期	前年比
営業収入	1,250	1,347	108%
営業利益	229	148	65%
営業利益率	18.4%	11.0%	
経常利益	227	136	60%
経常利益率	18.1%	10.1%	

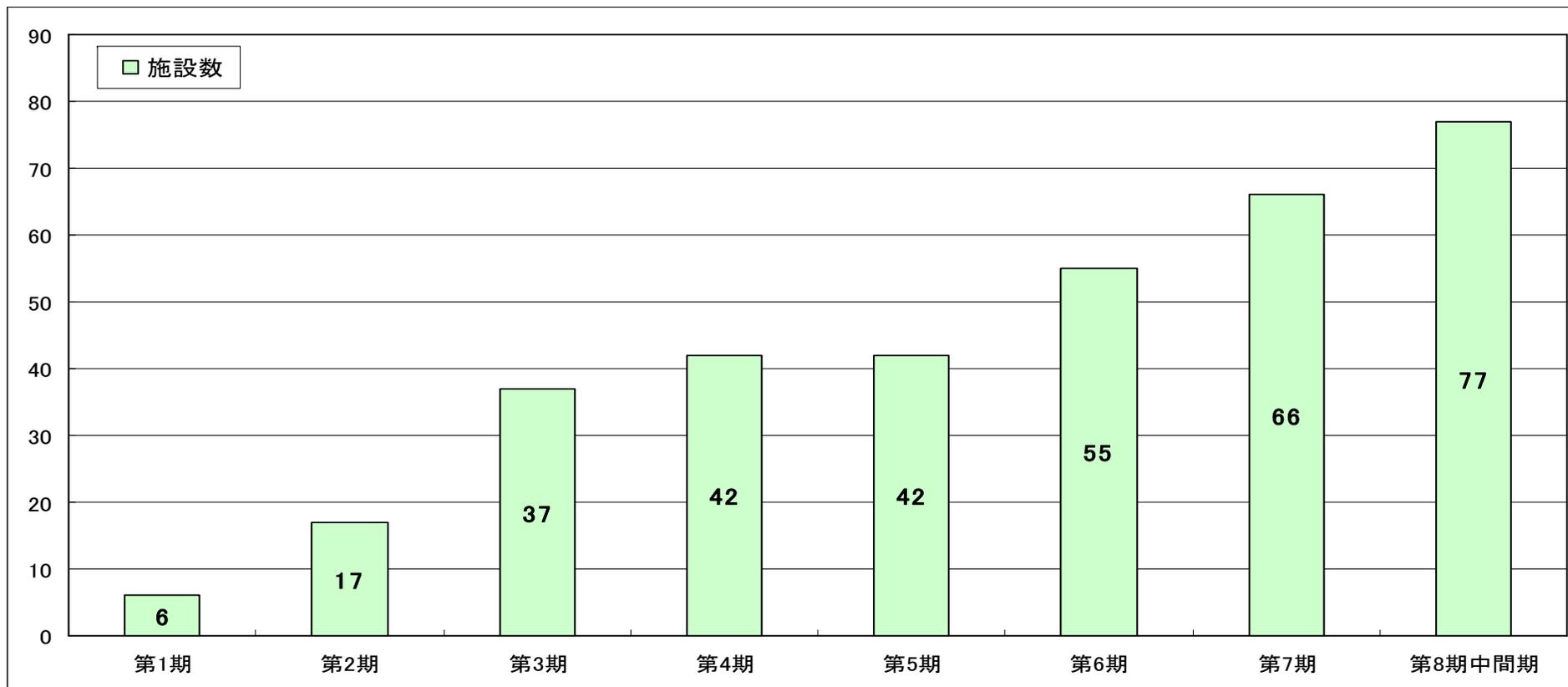


行政処分による減益

## 2) 施設の開設状況と東京都による行政処分について

### ① 施設数の推移

☆ 12施設を新設（東京11施設、川崎1施設）  
（直営施設数は77に増加）



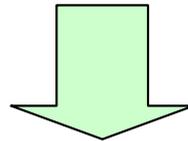
（注；今期1施設の廃止あり）

## ②新規開設施設の分布図

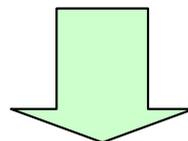


### ③東京都による行政処分とその対策

20施設は6ヶ月間、2施設は9ヶ月間の  
新規利用者の受け入れ停止(2009年6月10日以降)



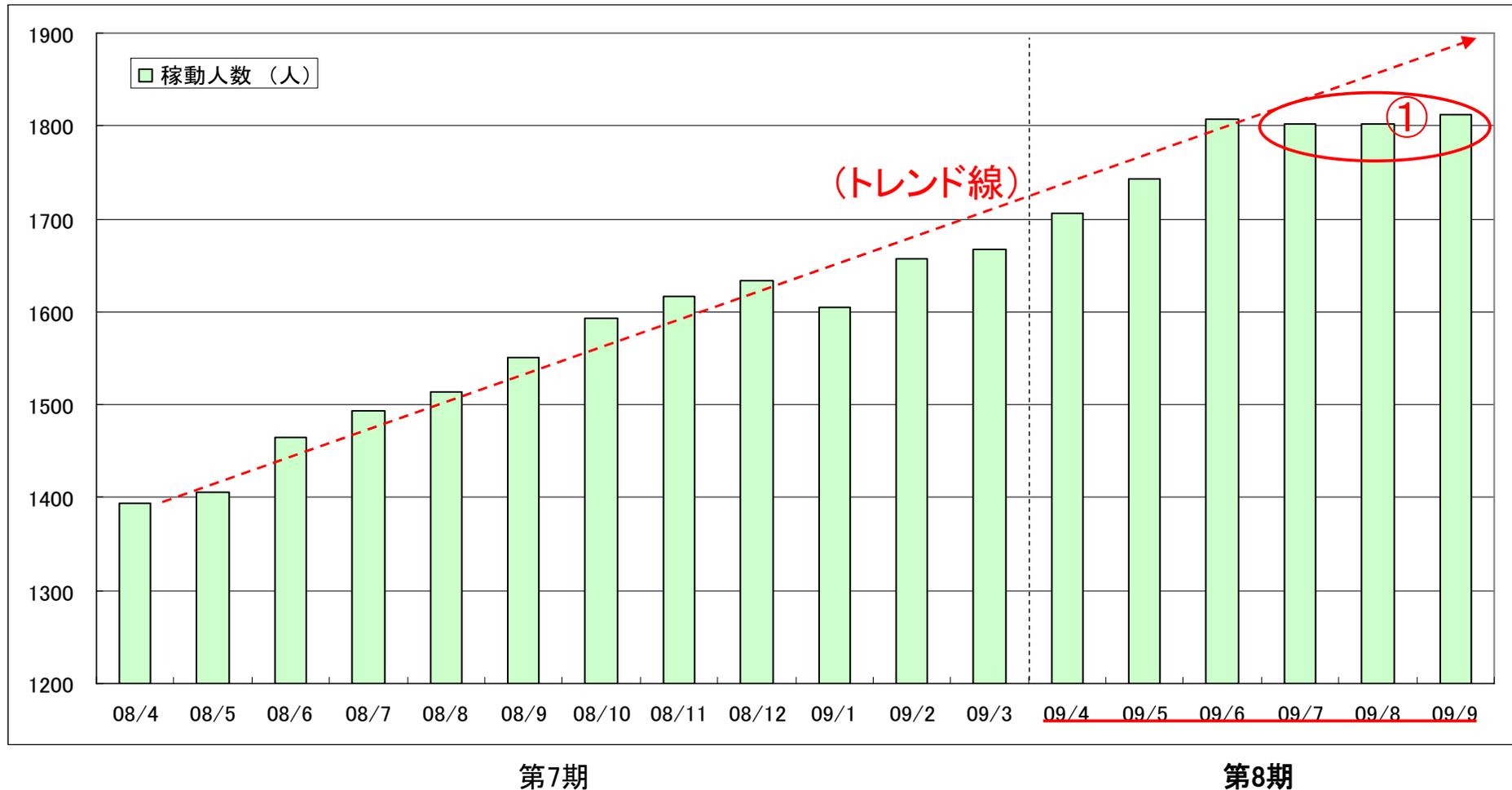
ブロック体制にて影響の最小化を図るも  
業績の低下が顕在化



今期の新規施設開設を中止する等で  
業績低下の阻止に注力

### 3) 業績の分析

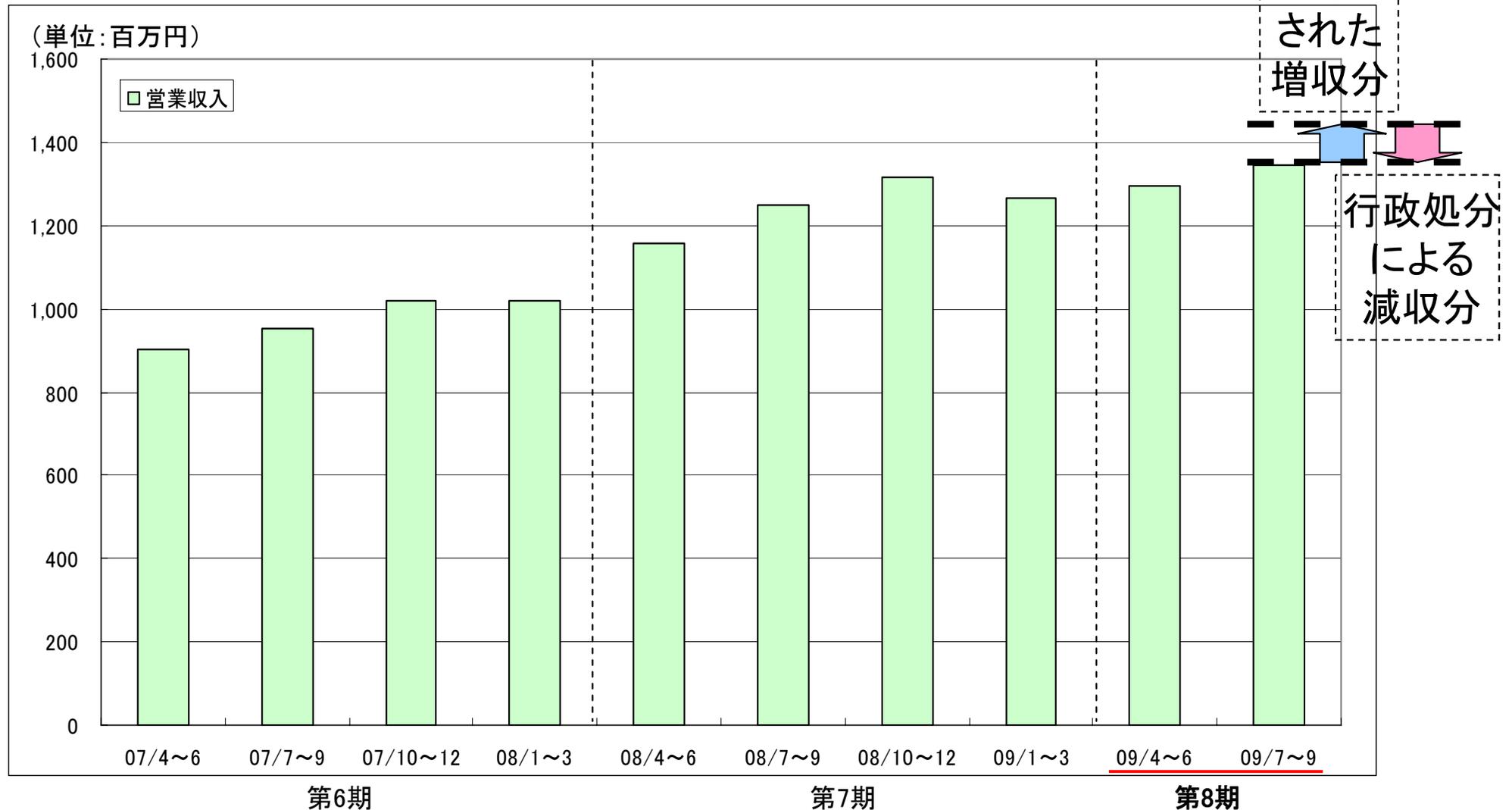
#### ① 稼働人数の推移



- ① 09/7以降の増加停滞(トレンド線からの乖離)は行政処分によるもの
- ② 一人当たり単価は報酬改定によりトレンドの分析は不能

(注: 稼働人数は一日あたりの利用者総数)

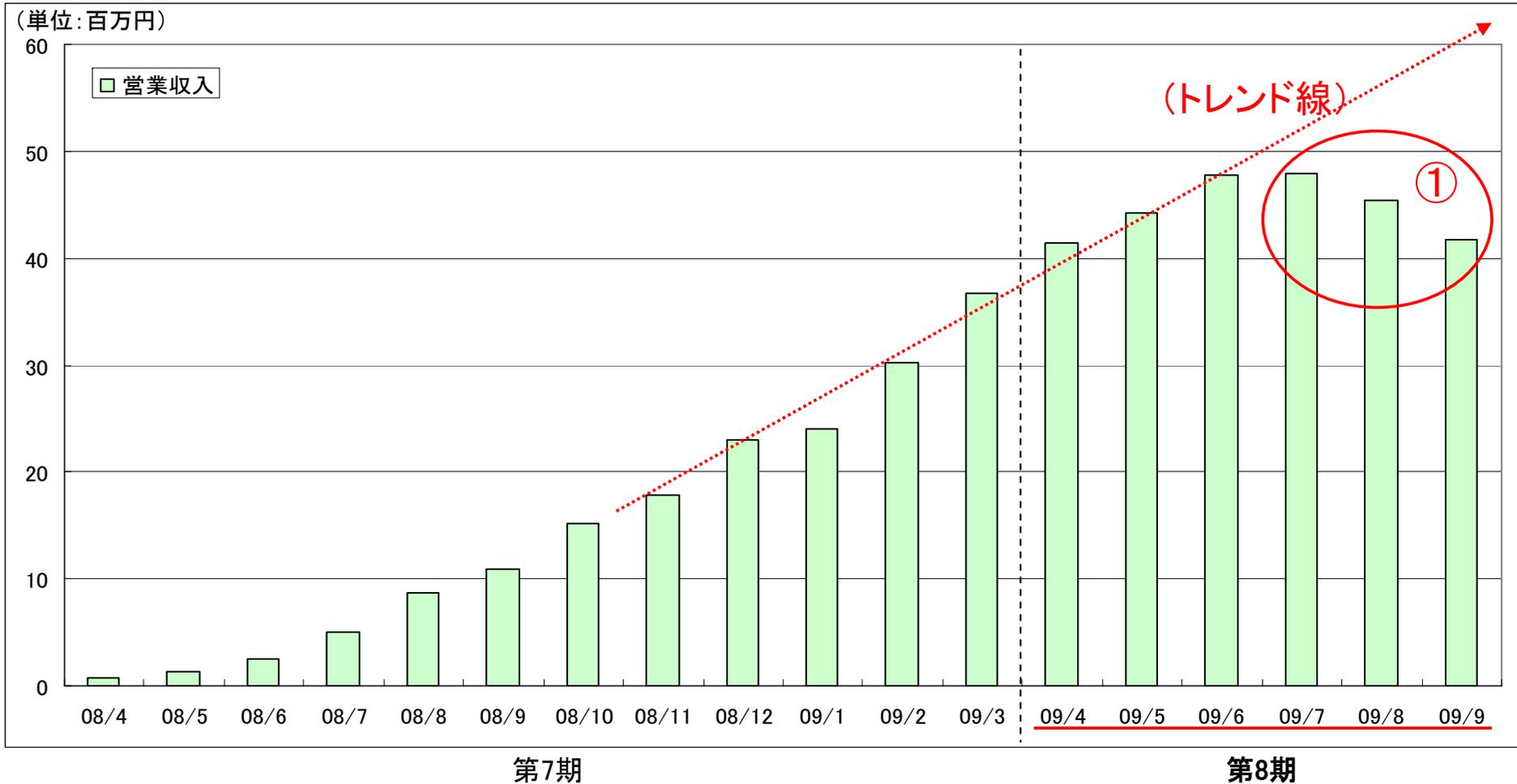
## ② 営業収入の四半期毎の推移



第2四半期の営業収入は対予算比減少(第1四半期大量増設の売上増と相殺)

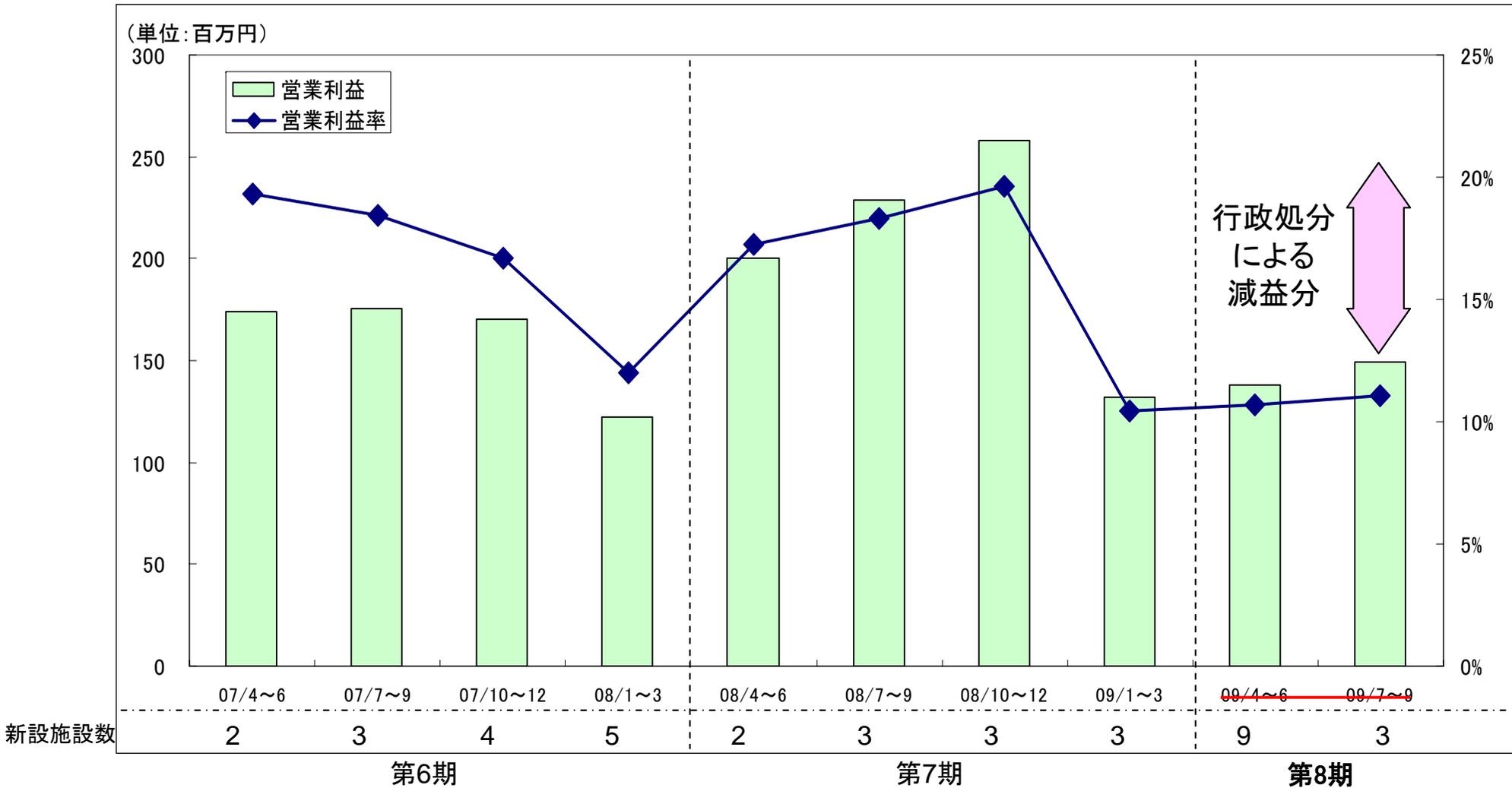
(第6期は個別)

# ③ 行政処分の影響度 (第7期開設施設全体の業績推移)



- ① 行政処分の影響により7月よりトレンドから大きく乖離
- ② 第6期以前の開設施設の業績も同じく悪化

# ④ 営業利益と営業利益率の四半期毎の推移



- ① 第1四半期の営業利益低調は大量増設による影響 → 予算の範囲
- ② 第2四半期の営業利益低調は行政処分による影響 → 予算の未達

(第6期は個別)

## ⑤比較貸借対照表

(単位:百万円)

	2008年度(第7期) 中間期	2009年度(第8期) 中間期	増減		2008年度(第7期) 中間期	2009年度(第8期) 中間期	増減
現金預金	241	750	508	短期借入金	478	995	517
未収入金	839	901	61	未払金等	435	391	△44
その他	97	179	81	賞与引当金	42	51	9
貸倒引当金	△ 2	△ 6	△ 4	その他	26	36	10
流動資産計	1,176	1,824	647	流動負債計	982	1,474	492
有形固定資産計	747	1,088	340	社債	0	380	380
無形固定資産計	10	9	0	長期借入金	117	32	△ 84
投資その他資産計	323	408	84	その他	0	67	67
固定資産計	1,082	1,507	425	固定負債計	117	479	362
				負債合計	1,099	1,954	855
				資本金	304	304	0
				資本剰余金	254	254	0
				繰越利益剰余金	631	899	268
				自己株式	△ 30	△ 81	△ 50
				純資産合計	1,158	1,376	217
資産合計	2,258	3,331	1,073	負債及び純資産合計	2,258	3,331	1,073



①社債の発行と短期借入金の調達により現預金が増加

②取引銀行5行との当座貸越契約(総枠16億円)締結(災害等有事への備え)

## ⑥比較キャッシュ・フロー

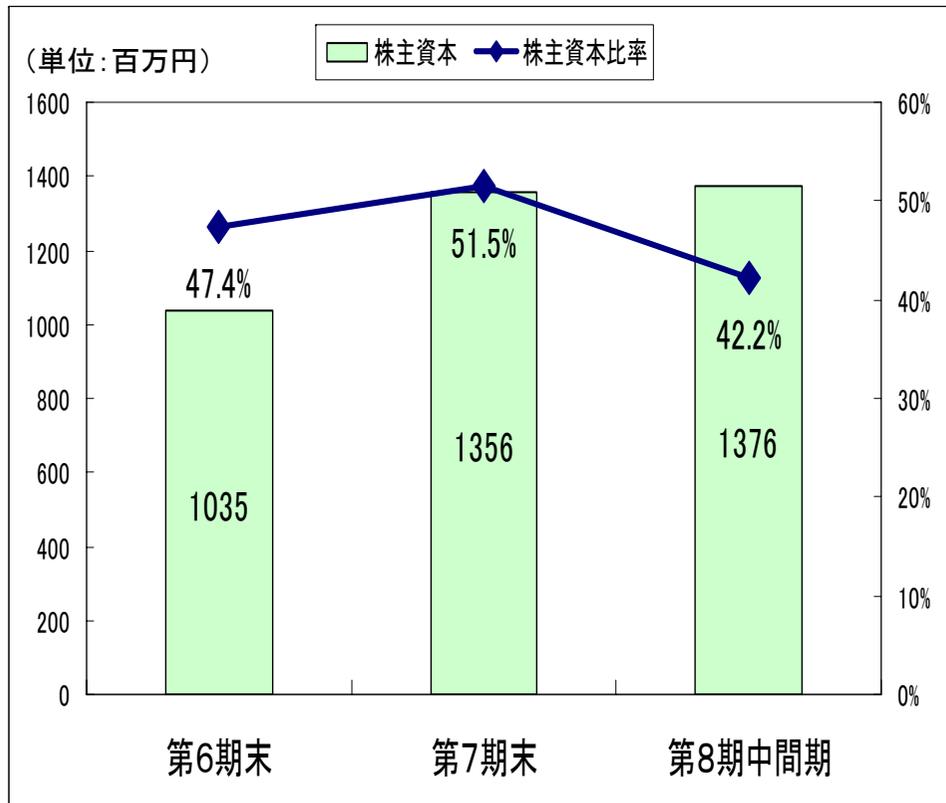
	2008年度(第7期)中間期	2009年度(第8期)中間期	増減
区 分	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	148	64	△ 83
税引前純利益	429	244	△ 185
減価償却費等	41	65	23
施設・事務所閉鎖損失	0	2	2
減損損失	0	14	14
売上債権の増加額	△ 133	△ 28	105
法人税等の支払額	△ 172	△ 225	△ 53
その他	△ 17	△ 8	8
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 184	△ 169	15
(フリー・キャッシュ・フロー)	△ 36	△ 104	△ 67
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 170	620	791
IV 現金及び現金同等物の増加額	△ 207	516	724
V 現金及び現金同等物の期首残高	449	234	△ 215
VI 現金及び現金同等物の期末残高	241	750	508



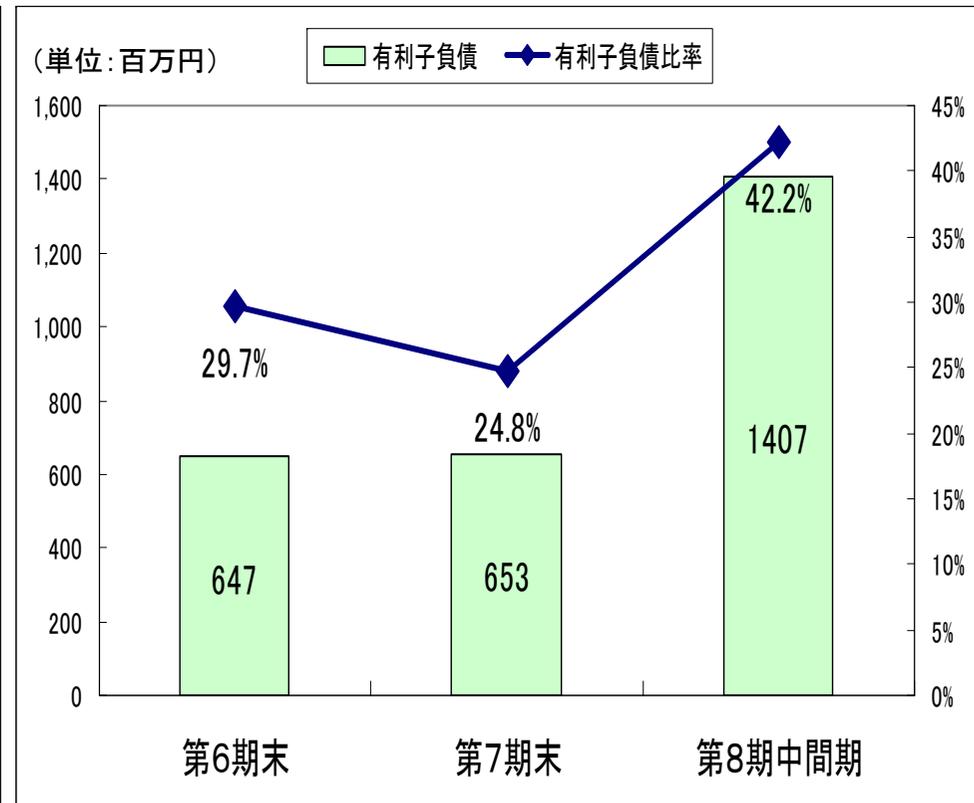
現預金の増加は、主に社債の発行と短期借入金の調達による

# ⑦株主資本と有利子負債の状況

## 株主資本



## 有利子負債



有利子負債の増加により、株主資本比率低下、有利子負債比率増加

## Ⅱ.下期の重点課題と資本政策

# 1) 下期の重点課題

- ① 行政処分の影響の最小化(利益の確保)
- ② 来期成長への準備
- ③ 内部統制の強化
- ④ 介護行政の適正化の推進活動

---

# 雨にも負けず、風にも負けず、・・・

(しかし、行政の適正化という「地球温暖化対策」は必要)

---

## 2) 施設開設計画

今期の新規開設は見送る方針

---

## 3) 配当政策

業績の状況により減配はありうる

- 本資料は、我が国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づき作成された2010年3月期第2四半期、並びに2010年3月期の予想業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は、2009年11月13日現在のデータに基づき作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。
- 本資料は将来の予測等に関する情報を含みますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。
- 本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社やまねメディカルに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。